

繋 谷地南部っ子

令和6年度 学校便り
R6. 7. 12
NO 8
校長 秋場 一憲

経営キーワード「一步踏み出す力（主体性）」「チーム力（協働・対話）」「考え抜く力（解決・創造）」

子供たちと学級集団が成長した姿を

～ 1学期2回目の授業参観・学級懇談会 ～

7月6日（土）に今年度2回目の授業参観を実施しました。保護者にご家族に参観いただくので、子供たちの表情がいつも以上に輝いていました。4月下旬の参観から約2か月。子供たち、そして学級集団としての成長は、保護者並びにご家族の皆様方にご映ったのでしょうか。率直なご感想を担任までお寄せいただければ幸いです。

また、学級懇談会では、1学期の成果と2学期に向けた課題を担任より説明させていただきました。今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



ふたば：生単「仲良しファーム」



1年：音楽「リズム打ち」



2年：道徳「言葉遣い」



3年：体育「キックベースボール」



4年：総合「山形発見発表会」



5年：算数「合同な図形」

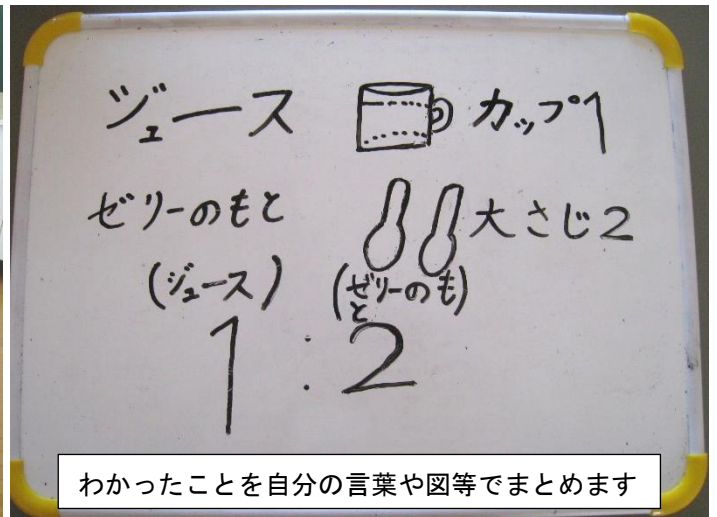


6年：算数「比」

「授業が命」・確かな学力の向上に向けて



ジュースとゼリーの素を「1対2」で混ぜます



わかったことを自分の言葉や図等でまとめます

学校経営の大きな課題の一つが、子供たち一人一人に確かな学力を身につけさせることです。学校研究の視点である「かく（書く・描く）力の育成」「個に応じた単元デザイン」「主体的な家庭学習」を柱に、すべての学年・学級で、日々授業改善を重ねています。そのような中、6月26日（水）には特別支援学級（あおば学級）の算数科の授業研究会を行いました。通常学級の指導に繋がる多くのポイントを全担任で共有しました。

【共有したポイント】

- 日常生活から算数の素材を見つけ、子どもの興味関心を喚起・持続させる授業デザインとなっている。
- 学習後に、子どもが学んだことを文字や数字、図で書き記しており、確実な定着に繋がる。
- より確実な定着のために、既習内容や過去の経験等を振り返る手立てをとる。（文字や写真、動画等）
- ゼリー作りを通した「比」の学習であるため、家庭学習並びに家庭生活への活用に繋がる。 など

今回の授業研究会は、特別支援教育への理解と充実にも繋がったものと思っています。今後も、研究・研修を充実させ、子供たちの確かな学力に繋がるよう努力していきます。



授業後の話し合いの一場面



水泳学習発表会に向け、水泳学習をがんばっています！！

7月22日（月）の週に、全学年・学級が水泳学習の成果を発表します。コロナ禍の影響もあり、水慣れしていなかったり学年相応の泳力が身につけられていなかったりする実態を受け、記録会ではなく、子供たち一人一人が自分のめあてを立て泳力を伸ばしてきた成果を見せる「発表会」としています。連日、プールからは大きな水しぶきの音や子供たちの歓声が聞こえてきます。ぜひ、保護者並びにご家族の皆様方よりご来校いただき、励ましの声援を送っていただきたいと思います。



5・6年合同水泳の一場面